

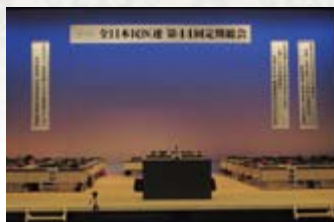
## 全日本民医連 第44回定期総会

全日本民医連は2月20日～22日、熊本市で第44回定期総会を開催し、全国から代議員598名と全日本民医連理事らが3日間にわたって方針を深めました。青森県連から千葉大輔医師を団長に代議員18人が参加しました。



青森県民医連の参加者一同

1日目の全体会は、まず岸本事務局長が今期スローガンと運動方針を提案。「2つの柱」を深化させ、地域からのちと人権、平和を守る運動を呼びかけ、今期も改憲発議を絶対にさせないと強調しました。記念講演は肥田泰氏（元会長）より、「綱領改定に至る経過と問題意識」について、民医連の医師として歩んできた歴史をふりかえり、講演の最後に「HPH、SDHの考え方は民医連結成以来、実践してきたもの。我々はこのことに確信を持ちたい」と参加者に語りかけました。



2日目は13会場で分散会が行われ、3日目に全体

会を再開、今期スローガン、運動方針、特別決議案等を採用しました。綱領改定から10年のあゆみを確認に、今後2年間、そして、その後の未来を模索し、創造した3日間であったとふりかえります。

いま、超高齢社会、貧困と格差の深刻な広がりに対峙する時代の中で、日々、患者と向きあえたなら、そこに手を差し伸べることはできます。一方、いったいどれだけの人たちが、病院や診療所にかかることすらできずあえいでいることでしょうか。

なんのために、誰のために。無差別・平等の地域包括ケアの実現にむけて、医療機関・介護事業所・保険薬局等の連携とアウトリーチで、地域の方々と手を携えながら、2つの柱を深化させ、健康格差にタックルし、この激動の荒波をみんなで乗り越えていきましょう。

（大野あけぼの薬局 事務長／柳谷 円）

### 第44回総会スローガン

- 綱領改定10年のあゆみを確認に、「医療・介護活動の2つの柱」を深化させ、医師確保と経営改善で必ず前進を
- 共同組織とともに地域の福祉力を育み、人権としての社保運動を旺盛にすすめ、健康格差にタックルしよう
- 共同の力で、安倍政権による9条改憲ストップ！ 核兵器廃絶、地球環境保全運動の飛躍を

オープニングは子どもたち歌声で幕が上がりました。



# 2法人の 新たな事業所紹介

青森保健生活協同組合では、二〇一三年十一月の「看護小規模多機能型居宅介護事業所ひまわり」に続き、二事業所目となる地域密着型サービス、「小規模多機能型居宅介護事業所おのおの」(※略して小多機おおの)を二〇二〇年一月六日に開設するに至りました。

定員二十九名で「通い」サービスを中心に「宿泊」「訪問」サービスを提供し、二十四時間三百六十五日の在宅生活をサポートします。小多機おおのは家庭的で安心できる場所、みんなが楽しく過ごせる場所、認知症になっても地域で安心して住み続けることのできる「第二の自宅」。

自分らしいを大切に、年齢を重ねても、その方の生活スタイルをそのままに、一人ひとりの想いを大切に「第二の家族」として、地域でその人らしい生活が送れるように支援していききたいと思えます。

この度の開設に至るまでには、職員・組合員・各関係機関からの厚いご尽力をいただきましたこと、感謝申し上げます。(小規模多機能型居宅介護事業所おおの 所長/田川 武)



正式名称：小規模多機能型居宅介護事業所おおの  
連絡先：青森市東大野2-9-2  
電話 017-762-0065 FAX 017-762-0067



各居室は山菜の名前になっています。利用者様からも好評です。



スタッフ協力して頑張ります



日常の様子

「虹の家」がオープンして約二週間が経ちました。新人職員等と一緒に、開設前の一か月間、研修を重ね準備をしてきましたが、実際に稼働してみると、改善すべき点や追加で準備しなければならぬ事が多々あり、あつという間の二週間でした。

内覧会では三百七十九名もの方々に見学に来ていただき「暖かい雰囲気を感じられる」「部屋が広く感じられる。トイレも広くていい」等の感想が寄せられました。当日二十八件のご利用に関する相談と、六名の利用申し込みがあり、開設初日の時点で利用登録者数は十六名、平均介護度は三・五となりました。ご利用者には現在、安全にかつ安心して日々をお過ごしいただいています。建物内は「自宅のように過ごしていただける暖かい空間」をイメージして設計されています。各居室の入り口には、版画家の藤田健次さんの「雪国のあそび」の版画が掲示されています。居室の床は木目調、壁は各居室が異なる色になっています。ホールは木目を基調に、間接照明と日光をうまく調和させた柔らかい採光です。

玄関入ってすぐの開き扉は、医療生協のイメージの虹がかかる「春夏秋冬のお花」のステンドグラスが埋め込まれ、ご利用者を暖かく迎えます。

寝たままの姿勢で入浴できる特浴や、楽な姿勢を保持できるリクライニングチェアなども装備し、また食事は、普通食・柔らか食・ミキサー食など、ご利用者の状態に応じて対応していますので、介護度や医療度が高い方も安心してご利用いただけます。



柔らかいうぐいす色を室内のアクセントに

まだ慌ただしい毎日ですが、ご利用者やご家族に「虹の家に来て良かった」と思っていただけけるよう、住み慣れた自宅(地域)で、その人らしい療養生活を支援できるように医療と介護の連携をさらに進め、職員一同力を合わせてがんばっていききたいと思えます。(生協看護小規模多機能ホーム虹の家/所長代行 沼田加奈子)



正式名称：生協看護小規模多機能ホーム 虹の家  
連絡先：八戸市南類家1丁目13-10  
電話 0178-32-7330 FAX 0178-32-7340



版画家の藤田 健次さんの版画



「春夏秋冬のお花」のステンドグラスでお出迎え

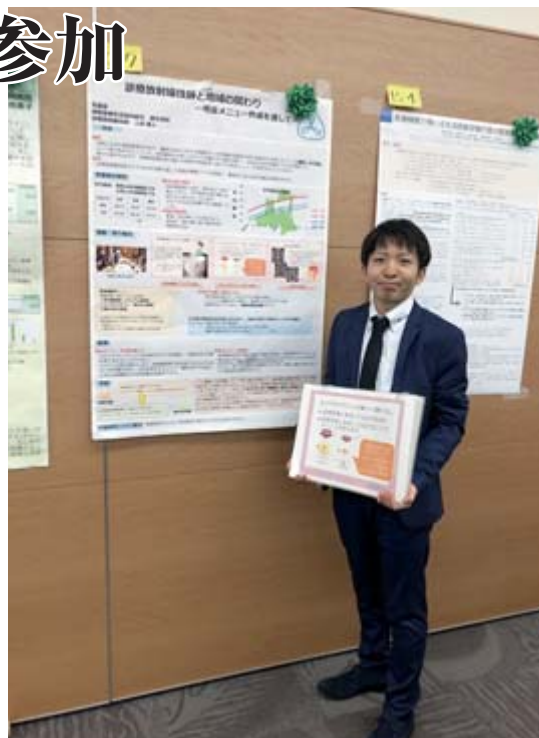
# J-HPHカンファレンスに参加

## 見事、優秀賞をいただきました！

2019年11月9-10日、東京で開催された  
J-HPHカンファレンスに参加しました。

健生病院で行っている「1 職場 1HP 運動」の取り組みの中で、放射線科が実践したことを発表してきました。その結果、見事優秀賞をいただくことができました。このような全国の場で表彰され放射線科がHP活動として実践したことを評価され嬉しく思います。診療放射線技師としてヘルスプロモーション活動（HP活動）に参加するのは難しいように思えますが、実際に活動してみると私たちにしかできないHP活動もあるのだと気づかされました。

放射線科のHP活動の内容としては、当科が健康診断で担う3つの検査、胃X線検査（バリウム検査）・マンモグラフィ検査・頭部MRI検査について、組合員の方々にわかりやすく解説するスライドを作成し、実際に班会活動で使用したことです。このスライドを多くの方に見ていただき、それが健診受診率の向上の一助となれば幸いです。今後は関心度の高い「放射線被ばく」の話や「CTとMRIの違い」などの私たちにしかできない話題を扱い、組合員ならびに地域住民の健康意識を高める活動をしていきたいと思っております。これからも健生病院はHPH加盟の事業所として地域に根差したHP活動を行ってまいります。



（健生病院／上田優人）



## 核兵器不拡散条約（NPT） 運用検討会議に 参加するにあたり

二〇一七年七月  
七日に核兵器のない世界の実現を目標とした核兵器禁止条約が採択され、

「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きているうちに何としても核兵器のない世界を実現したい」という被爆者の想いがこめられたヒバクシャ国際署名は、世界中の支持を得て一千万筆を超え国連に提出されました。核兵器の完全廃絶への道が示されてから初めての核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議に参加するにあたり、私にできることは核兵器廃絶に向けた活動を知り、できるだけ多くの人に知ってもらおうことだと考えています。普段は気にも留めず日々を過ごしますが、とても身近な気候変動やエネルギー問題に繋がっていることを目の当たりにしています。何が大切か自分の目で見て、耳で聞いて、心で感じて、それを皆さんに伝えたいと思います。初めて日本を出てニューヨークに行くという事で身の引き締まる思いです。多くのことを知り・学び・伝えていきたいです。

（あおもり協立病院／池田一生）

## ▶平和活動交流集會に参加して

12月21日・22日、全日本民医連主催の平和活動交流集會に参加しました。名嘉事務局長（沖縄民医連）の問題提起報告から始まり、白神優理子弁護士の記念講演「日本国憲法は希望」など、日米安保などの学習と平和活動について学びました。

安倍首相は日米同盟の強化を事あるごとに訴えてきましたが、日米安保条約・日米地位協定は米軍の自由な活動を最優先したものであり、日本国内において日本国憲法の制約を受けない不平等な内容となっています。米軍の訓練に伴う事故が起きたとしても日本の警察には捜査権がなく、訓練規制もないので昼夜問わず米軍機の離発着訓練が可能です。これに最も被害を受けているのは沖縄県ですが、この条約・協定は全国で適用されるため、どの県でも起こりうることです。

平和活動とは何か。単に戦争反対を訴えることは簡単ですが、大事なものはものごとの本質を知ることだと思っております。関心を持ち、学習を進めていくことが、平和を守る第一歩だと学びました。（健生クリニック／漆舘杏子）



会場の様子

今年の六月、九月、十二月の全三クールを通して平和学校に参加してきました。平和学校では辺野古や原爆に対する講義に加え、フィールドワークを通して平和について考える学習をしました。

フィールドワークの場合は東京だけでなく、韓国にも行く機会がありました。自分にとっては初めての海外というのに加え、日本との関係も悪化している中行くことになっていたので大丈夫だろうかと思



いう心配がありました。しかし実際は全然そんなことなく、報じられている情報と大きな

ギャップを感じました。安心も束の間、本場の辛い韓国グルメに身体的な衝撃をたいへん受けました。今回の平和学校で学んだのはマスメディア、本などから知る情報は、それぞれのポジションがあるということですが、何でもかんでも鵜呑みにするのは危険だなと思いました。各々の意見や情報を噛み砕いて自分はどうのように思うのか、自分の頭でしっかり考えることを大切にしていきたいです。

(健生病院／佐々木悠人)

## 全日本民医連 第7期 平和学校

平和について幅広い視点から深い学びが得られ、今後自分が社会の中でどう在るべきかを考えさせられる濃厚な研修でした。

東京研修では、日本であるゆる立場で平和活動を率先している方々からお話を聞きました。韓国研修では、黄慈恵氏（韓国映画振興委員会日本駐在員。第一期平和学校から案内役。）の案内で、戦争や市民運動等に関する歴史的資料館等を見学しました。

参加する前、私は、日々仕事や生活に追われ、社会の動きに積極的に向き合うことができませんでした。平和新聞編集長布施氏の「平和運動は、戦争の芽を摘むこと。大衆が危険を察知した時には、戦争は止められない状況になっている。」という言葉は、私の無関心や無知への警告に感じました。

自分と自分の大切な人の幸福のために、社会への影響力を自覚し、責任を持つことが重要だと気付きました。世界視点、歴史学習、他者との意見交換を重

視し考えを深め、できることから行動したいと思います。

(健生病院／菅野真伎)



### 青森民医連 医学科4年生奨学生のつどい

## 将来いっしょに働く同期と交流できる場になった

2019年12月28日に健生病院にて「4年生奨学生のつどい」を開催しました。奨学生に青森民医連の医師研修や医療活動を知ってもらい、青森民医連に参加する思いを強くしてもらうため開催したものです。6人の奨学生と9人の医師を合わせ26人が参加しました。

管理医師（伊藤真弘院長、竹内一仁医師、田代実県連会長）からは、「無差別・平等・公正」が健生病院の医療活動のコンセプトであること、「あらゆる疾患で押し寄せる患者に適切な対応ができる」臨床能力を学ぶ初期研修の特徴、健康格差にターゲットし患者さんの受療権を守ることが求められている情勢、そして奨学生への期待などが発言されました。

健生病院の研修に参加した若手医師（金森正紘医師、山崎佑真医師、後藤慎太郎医師）からの報告では、「研修目標が明確で指導医が熱心」「多職種のサポートの厚さ」「深く患者に関わることができる」等々、自身の研修を振り返って健生病院での研修が現在につながる大きな財産であることをアピールしてくれました。



伊藤院長による院内案内



奨学生と医師全員で記念撮影

初期研修でしっかり勉強していきたい」「健生の研修の強みを知ることができた」「社会・医療・福祉と広い視野で津軽全体を学び考えていきたい」等の感想が出され、また「次の機会には、民医連の綱領や民医連の医療介護活動の二つの柱の実践についても話を聞きたい」という声もありました。

奨学生のなかには将来への不安や悩みを持つ人もいましたが、この企画が健生病院での研修に確信を持つ機会となり、同期の存在の大切さも実感することができました。医師医学生課一同、引き続き青森民医連の頼もしいパートナーとなるよう奨学生・医学生の学びと成長に取り組んでいきます。（青森民医連／原 圭輔）

ようこそ未来のナース達!

# 冬の高校生1日看護体験会

in 青森

## 「ナースになりたいのきっかけ」 たくさんごいごいあります!!

十二月二十六日(木)市内の高校二年生を対象に「冬の高校生一日看護体験」を開催し、生協さくら病院へ八名、あおもり協立病院へ十八名が参加しました。

参加者全員白衣に着替え、感染対策の話では、正しい手洗い方法や手袋・マスクの着用方法を感染管理認定看護師の扇谷看護長より伝授し実践もしました。学生さんはよく洗ったと思っても、意外と落ちない汚れに悪戦苦闘していました。インフルエンザの流行時期でもあり、感染対策の大切さを分かってもらえたのではないかと思います。病棟では、血圧測定、注射のつめ方に挑戦!...でもなかなか脈がさが



正しいマスクのつけかたは...

せません。自分が低血圧という事に驚いた学生さんもいました。また、患者さんの手浴・足浴もしました。患者さんとのコミュニケーションは、やや緊張きみでしたが、患者さんからの声掛けもあり、緊張がほぐれました。いつの日か、一緒に働ける日を心待ちにしています! (青森保健生協本部看護学生担当/須藤千夏)

in 弘前

## 今年で三十七年目!! 高校生一日看護体験

津軽保健の看護部が高校生一日看護体験をはじめ、今年で三十七年目になります。開催当時の一九八〇年代は先駆的な企画で、新聞に大きく掲載されるほどでした。毎年、春・夏・冬の受け入れで既に開催は百回を超えています。この体験をきっかけに看護の道に進学された方はもちろん、今現在、津軽保健で看護師として活躍している方も大勢います。

今冬も男子生徒含む三十一名の高校生を健生病院・藤代健生病院で受け入れました。当日は担当看護師たちが念入りな準備をして、様々な看護技術を模擬で高校生に提供・指導しています。毎回「現役の看護師から学ぶ」「病棟で実際に患者さんと触れ合う」企画は大



今回初!男子だけのグループ



ER看護師の指導で

好評。生徒からは「やっぱり看護師に!」「進学を決めました!」だけではなく、「将来ここで働きたい!」という嬉しい声も聞かれ、看護師たちの大きな励



1980年代の高校生と職員



2019年12月の高校生と職員

みに!  
少子化が叫ばれる中、看護師を目指す高校生を増やすために、「高校生も職員も共に育つ」一日看護体験を継続していきます。(津軽保健生協 看護介護部 看護学生担当/成田富子)

2019年度

# 青森民医連経営セミナー開催

1月25日(土)に県連経営委員会の主催で青森民医連経営セミナーを開催し、県連内の各事業所から65名の職員が参加しました。

講師には(株)日本ヘルスケアプランニング八田正人氏を迎え、2020年度診療報酬改定の概要と注視すべきポイントについて、およそ3時間にわたり説明いただきました。

民医連のみならず、全国の医療機関の経営は厳しい状況に追い詰められており、診療報酬改定に適切に対



講師(株)日本ヘルスケアプランニング八田正人氏

応することは経営を守る意味においても必須の課題です。

今回の経営セミナーでは、事

務職員ばかりでなく、他の職種からも多数参加していただきました。様々な事業所、様々な立場の方の参加となりましたが、それぞれが果たすべき役割を最大限発揮し、チームで診療報酬改定対応に臨み、皆でこの難局を乗り越えていくことを確認して終了しました。

(県連経営委員/今 淳一)



会場の様子

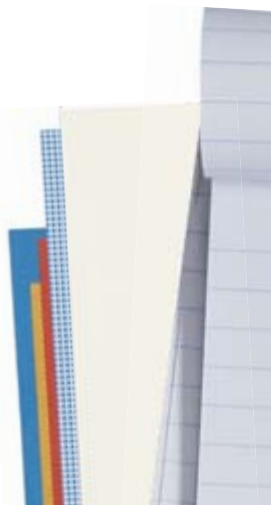
## 連載 事務幹部学校 参加報告 (最終回)

# 民医連事務幹部として私はどう生きるか

第四クールでは「東日本大震災の復興と現状と課題」「四十四回定期総会運動方針(案)を学ぶ」「共同組織とともに安心して住み続けられるまちづくり」「無差別・平等の地域包括ケア・社会保障制度改悪と地域での運動」を題材とした講義を受け、グループディスカッションによるアウトプット学習が行われました。学習を通じて、問題解決の指針となるものは憲法九条二十五条の精神であり、それを守り抜く事こそが我々に求められる最大の使命であるという事を認識する事ができました。

民医連職員は情勢に対して常に問題意識を持ち、そこで起きている不条理な出来事への解決策を模索し、実践していく役割があります。また、政治による誤った判断を許容する事なく、意識を同じくする共同組織の方達と連帯して行動していく事も極めて重要な事です。

事務幹部学校では多くの仲間と出会い、多くのことを学ぶ事ができました。今後は民医連事務幹部としての誇りを持ち、先頭に立って行動していけるよう努めてまいります。(安方クリニック 事務長/小山内 海)



青森民医連  
診療所管理者  
第4回  
交流集会

一月二十五日(土)青森市民ホールにて県連内の各事業所から管理者(医師、看護、事務系、リハビリ)総勢三十四名が集まり活動交流を行いました。

プログラムは、坂戸慶一郎委員長から「診療所政策(案)」作成にあたっての経緯について説明があり続いて各診療所からの活動報告がありました。(全八事業所持ち時間七分で報告)分散



ワールドカフェ形式でセッションの様子

体で診療所活動を盛り上げるために必要なことなどを意見交換しました。

感想文で多かった意見は①医師体制(複数体制)への希望②在宅医療の重要性と多様性③ケースワーカーの必要性などでした。今回の交流集

会では、とりわけ在宅医療に関して要求される内容が多種多様なため医師・事務・看護などは職域を越えて対応しており、多職種連携の重要性・必要性を多くの参加者がキーワードに使っていたのが印象的でした。

(健生五所川原診療所 事務長/奥瀬昭彦)

# うちの メコッコ

vol. 55

♥ name 元気 (オス)

♥ age 9 歳

わが家には9歳になるオスのミックス犬「元気」がいます。彼は「動物愛護センター」で譲渡してもらいました。

皆さんもご存知かと思いますが、日本には殺処分される動物がたくさんいます。動物愛護センターでは、大切な命を次の飼い主さんに手渡す譲渡会を開催していて、その会を通じて「元気」は我が家にやってきました。ペットショップを通じて、かわいいワンちゃんねこちゃんを家族にする方もいらっしゃいますが、これから動物を家族にしたいとお考えでしたら、ぜひ譲渡会のご利用をご検討いただけたらと思います。大切な命を少しでも守ってあげられたら…と願っています。

(福祉用具サービスあけぼの／芳賀厚子)



## 2020年3月 3月 第23回理事会報告

>> 全日本民医連 第43期第25回理事会報告

>> 全日本民医連 第44期定期総会報告

>> 決議事項

薬学奨学生数の確保数変更について

採用医師の着任に伴う赴任手当の支給について

第55期紹介業者サービス利用についての提案

2021年度採用看護師就職説明会開催要項 等

>> 会務報告 / 各委員会・医師委員会報告

全日本・地協各部門会議・研修

医師委員会報告 / 既卒医師対策報告

>> 協議事項

コロナウイルス対応について

第55期県連総会へ向けて

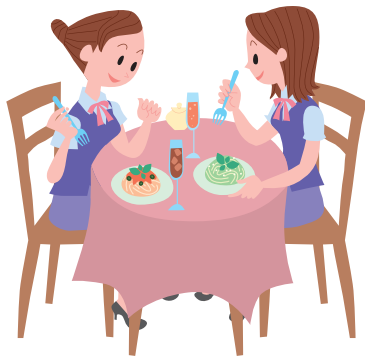
「憲法9条を守る憲法闘争」推進本部 等

## 私の三つ星★★★★

オススメ

### ～飲食店 「肴ダイニングバルCOCO」～

先日新年会で初めて利用したお店「肴ダイニングバルCOCO」を紹介します。メニューは新鮮な刺身やお肉など全ておいしく食べる事ができました。それより印象的だったのは、手書きのクイズや職員紹介などがトイレや所々の壁に貼られていた事、お客様に楽しく気分よく利用してもらいたいと言う思いを感じました。止めは、会計後に寒いでしょうとホッカイロまで頂き、心はほっこりでしたよ。皆様もいかがでしょうか？  
(協立訪問看護ステーションほほえみ支所 所長／在原金子)



あなたと民医連をつなぐ月刊誌

# いつでも元気

MINI-IREN

2020 3月号 380円 好評発売中

---

けんこう教室 花粉症

---

災害公営住宅はいま 宮城

---

原発を止めた裁判官

---

宿題外来 東京

---

まじのチカラ 愛知県南知多町

---

食と健康 高たんぱくのススメ

---

発行＝神保健康医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657



## 同じ抱負を掲げたみなさんをご紹介します!

### 「楽」

- ついついあれしなきゃ、これしなきゃと思ってしまうが、今ある暮らしを楽しむ。をモットーに日々を過ごしていきます!
  - 「らく」ではなく楽しい一年としたいです。
- 他3名

### 「笑」

- 今年も笑顔いっぱいの年にしたいので。
- 笑顔を絶やさない年にしたい。

### 「幸」

- 自分の名前が幸なので、父が付けてくれた名前のようになれますように。
- 33歳独身(笑)今年こそ!!幸せになりたい!!

### 「子」

- ねずみ年で、今年子どもが生まれるので「子」
- 今年は、年女なので、細く長く、イイ女になる。

### 「健」

- 健康第一。健康であればなんでもチャレンジできる。
  - 自分も含めて、周囲にいる人、全てが健やかでありますようにとの思いから。
- 他3名

### 「躍」

- オリンピック、パラリンピックを楽しみにして心を躍らせ観覧したいと思っています。
- 今年はオリンピックの年なので選手達が躍動し沢山の金メダルをとってほしい。自分も今年は躍動(趣味)できればよいなと思っている。

## 私の2020年の抱負を漢字一文字で表すと「〇」です。

285号(2020年1月号)お年玉プレゼント応募用紙に記載していただいた皆さんの抱負の中からご紹介したいと思います。

**「挑」**7年間秘めていた資格取得に挑戦します。応援してくれる人々のためにも目指せ一発合格!!

**「抜」**40代になり、今まで色々なところに力を入れてきましたが、上手に力を抜けるようにやっていきたいです。

**「礼」**「丁寧」という言葉を一文字にすると「礼」になるそうです。毎日、できることをコツコツ、丁寧に積み重ねて行く、丁寧に生きたいという思いを込めて礼にしました。

**「作」**作業療法士として、原点回帰、地域の人々の健康と幸せづくりをサポートしていきます。

**「労」**職場の仲間と共に労働し、皆で疲れを労いたい。



## ご当選おめでとうございます!



今回のお年玉には49通の応募を送っていただきました。どうもありがとうございます。皆さんから送っていただいたご意見・ご要望を、編集委員一同、参考と励みにしながら一層充実した、楽しくタメになる紙面づくりをしていきたいと思ひます。

### 1等 3,000円 2名

名越しおりさん (健生介護センター虹・居宅介護支援事業所)  
高木 美雪さん (健生介護センター虹・居宅介護支援事業所)

### 2等 1,000円 5名

神 めぐみさん (県連・青森事務所)  
相馬 貴之さん (健生労組)  
金田一 成子さん (あおもり協立病院・薬局)  
大川 誠也さん (黒石薬局)  
宮腰 愛香さん (健生病院・医局医学生課)

### 3等 500円 15名

成田 美奈子さん (県連・青森事務所)  
山内 順子さん (健生五所川原診療所・医事課)  
赤石 友紀さん (ファルマ浪岡薬局)  
小山内 智絵さん (藤代薬局)  
藤田 光希さん (中央あけぼの薬局)  
斎藤 梓さん (あおもり協立病院・健診科)  
倉内 史緒里さん (協立クリニック・ふきのとう)  
三上 勇さん (あおもり協立病院・薬局)  
須藤 江利加さん (ファルマ弘前薬局)

今 晴美さん (健生五所川原診療所・外来)  
猪股 美穂子さん (津軽医院)  
館山 忍さん (健生介護センター虹・居宅介護支援事業所)  
柴田 恵美さん (あおもり協立病院・5階)  
木村 美香さん (健生病院・看護長室)  
工藤 理沙さん (健生病院・医局医学生課)